

しんりんかんだより

‘25 第1号 (vol. 97)

年主題 「ともに」

月主題

1, 2 歳児 よろしくね

3, 4, 5 歳児 だいじょうぶ、神様に愛されて

2025年4月1日発行



「ともに」

昨年度は、引っ越し等で途中転園が相次ぎ、年度途中で幼児クラスの人数が減ってしまいました。同年齢のクラスの人数が少なくなる中、子どもたちの集団としての経験や関わりをどの様に作り出していけるかが課題となりました。そしていつもより早く2歳児のこぼと組が2階に降りて、幼児クラスと生活する事にしました。すると今まで一番下だった虹組さんが、お兄さん、お姉さんになって、こぼと組を受け入れてくれり、年長さん、年中さんも優しく受け入れてくれました。散歩の時、きれいな石が拾いたくて寄り道をするRちゃんを「今は止めて、公園で探そう～」と何度も手を引いて誘導してくれるNちゃん。そんなNちゃんを信頼して、Rちゃんは散歩の時いつも手をつなぎにます。昼寝明けは、寝起きの悪いR君、M君を優しく抱き起す年長のT君。「もう起きる時間だよ…」と声を掛けると、泣かずに穏やかな顔で目を開けます。「ほらね～泣かないで起きたでしょう。」とおやつに促してくれます。外遊びでは、幼児さんの真似をして、「鬼決めしよう！」とこぼと組だけで相談する姿があり、関わりを通して、見て、感じて学んでいくことの大切さを感じました。

しかし早くに2歳児クラスが合流したことで、幼児クラスの負担もありました。昼寝がない年長さんの落ち着ける時間や場所を確保するのが難しくなったり、卒園式に向けての活動にも工夫が必要でした。限られたスペースや人員をどのようにしたら子どもたちの豊かな経験や関わりを作り出していけるのか課題が残りました。

一方コロナ禍で失った人との関わりは、地域活動の中でも取り戻しつつあります。ハンドボール教室が定着し、卒園児が学校の友だちを誘って参加しています。そして園児保護者のお父さんお母さんお手伝い下さりその輪が広がっています。梅島第二小学校の体育館で、たっぷり2時間、体を動かして、交流を深めています。

4月から入園された新入園児さん、ご家族の皆様、親隣館保育園ようこそ!!これから始まる親隣館保育園での生活を共に楽しんで頂けたらと思います。宜しくお願い致します。

(主任 鹿糠 正美)